

男女共同参画意識に関するアンケート結果

1. 目的

第 3 次石狩市男女共同参画計画の進捗状況および男女共同参画に関する市民意識を把握し、本市の男女共同参画推進事業に活用するため実施

2. 対象者の抽出方法

市内に居住する 20 歳以上の男女 1,000 人

- 1 地域別割合：旧石狩市 900 人、厚田区 50 人、浜益区 50 人
- 2 年代別割合：20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以降を概ね均等
- 3 男女別割合：各世代を概ね均等

3. 期間及び方法

期間：平成 29 年 8 月 25 日（金）～9 月 11 日（月）

方法：対象者にアンケート書類一式を郵送、返信用封筒により回収 ※Web 回答も受付

4. 回収状況

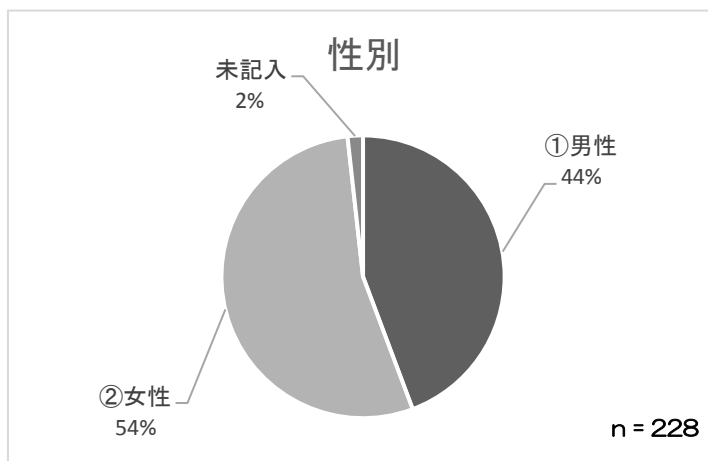
回収件数は 228 件で回収率は 22.8%（H28：180 件、18.0%）

1 性別

男性は 20.2%、女性は 24.6%の回収率となっています。

項目 \ 性別	① 男性	② 女性	③ 未記入	合計
配布数(件)	500	500	—	1,000
回収数(件)	101	123	4	228
回収率(%)	20.2	24.6	—	22.8

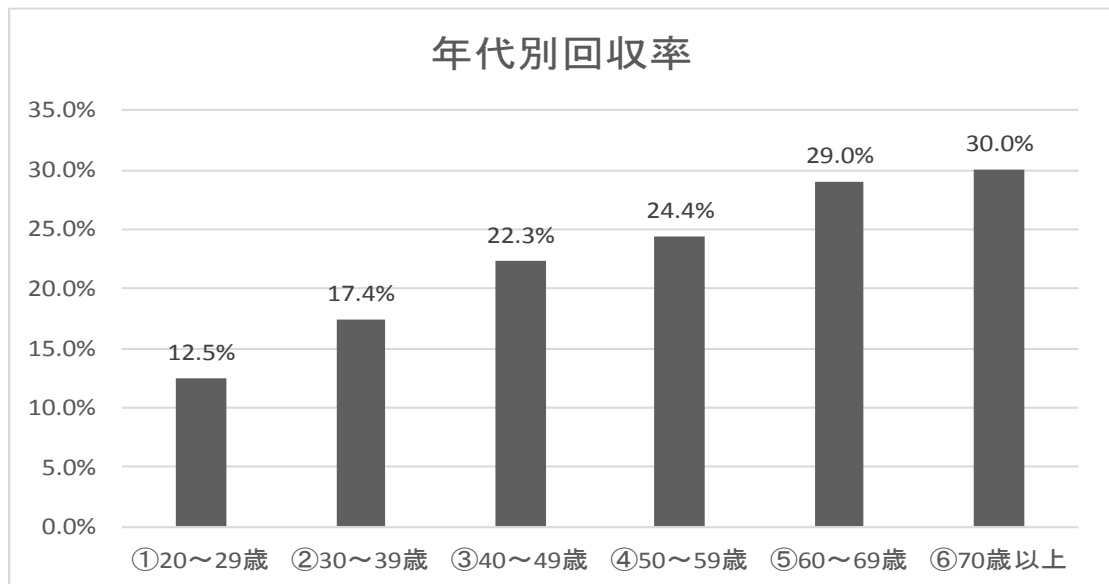
※性的マイノリティ（LGBT）の方に配慮し、性別選択は必須項目としていません



2 年齢

⑥70歳以上が30.0%と一番高く、次が⑤60～69歳の29.0%と高齢の方からの回収率が高い一方で、①20～29歳が12.5%、②30～39歳が17.4%と若年層の回収率が低くなっています。

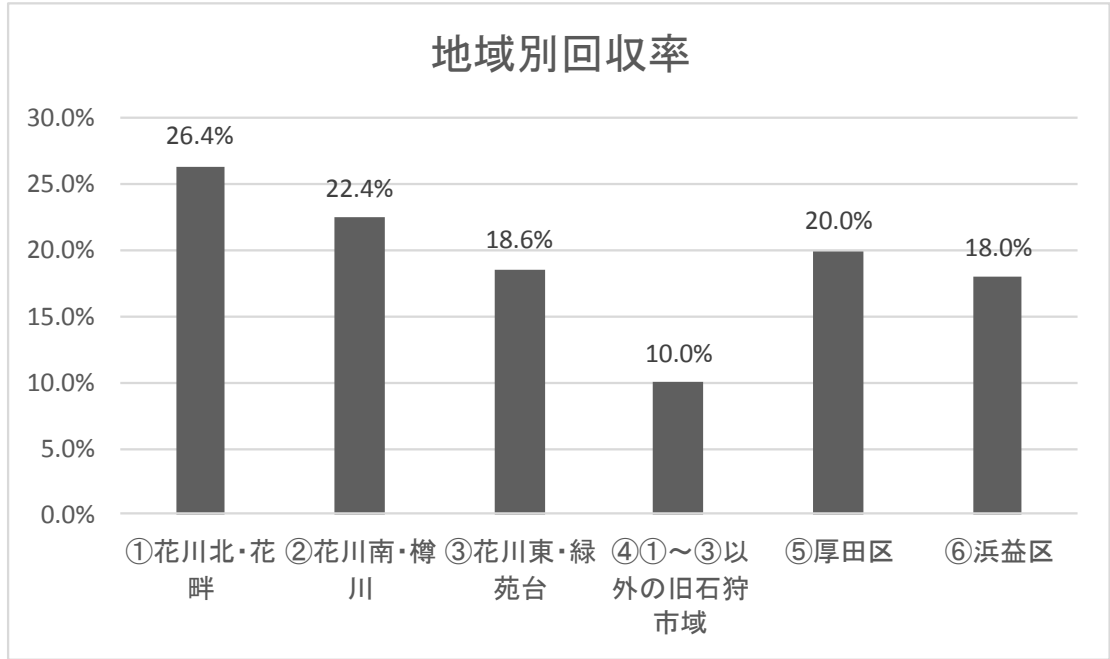
年齢		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
項目		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	未記入	合計
配布数(件)		176	172	166	164	162	160	—	1,000
回収数(件)	男性	8	11	12	21	25	24	0	101
	女性	14	19	25	19	22	24	0	123
	未記入	0	0	0	0	0	0	4	4
	合計	22	30	37	40	47	48	4	228
回収率(%)		12.5	17.4	22.3	24.4	29.0	30.0	—	22.8



3 お住まい

④の①～③以外の旧石狩市域（八幡、親船、生振、緑ヶ原）が10.0%と低い他は、同程度の回収率となっています。

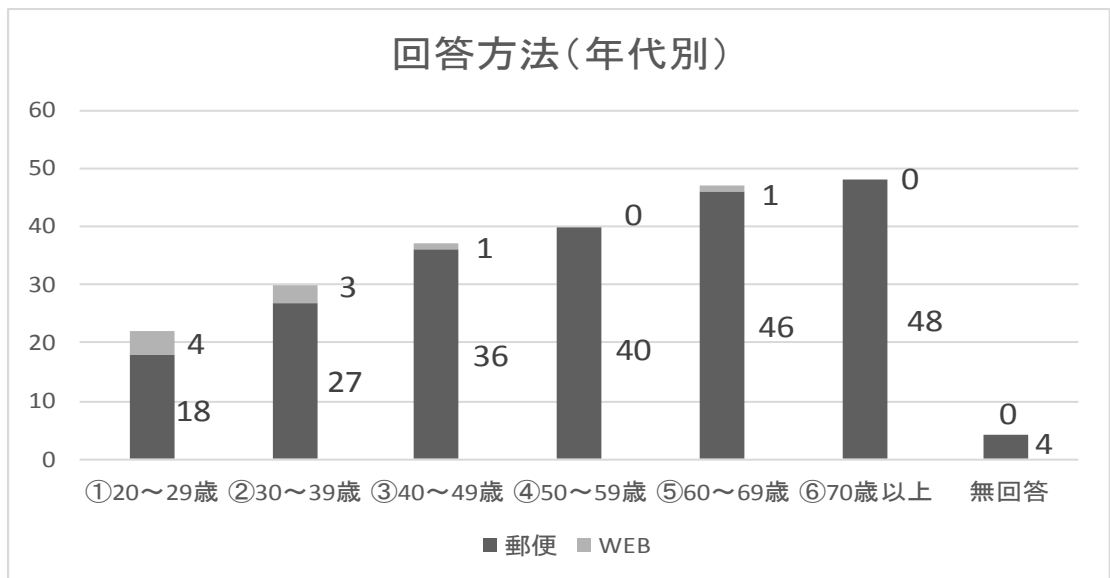
地域		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
項目		花川北・花畔	花川南・樽川	花川東・緑苑台	①～③以外の旧石狩市域	厚田区	浜益区	未記入	合計
配布数(件)		280	490	70	60	50	50	—	1,000
回収数(件)		74	110	13	6	10	9	6	228
回収率(%)		26.4	22.4	18.6	10.0	20.0	18.0	—	22.8



4 回答方法

郵便で回答した人は 219 人、Web で回答した人は 9 人となっています。

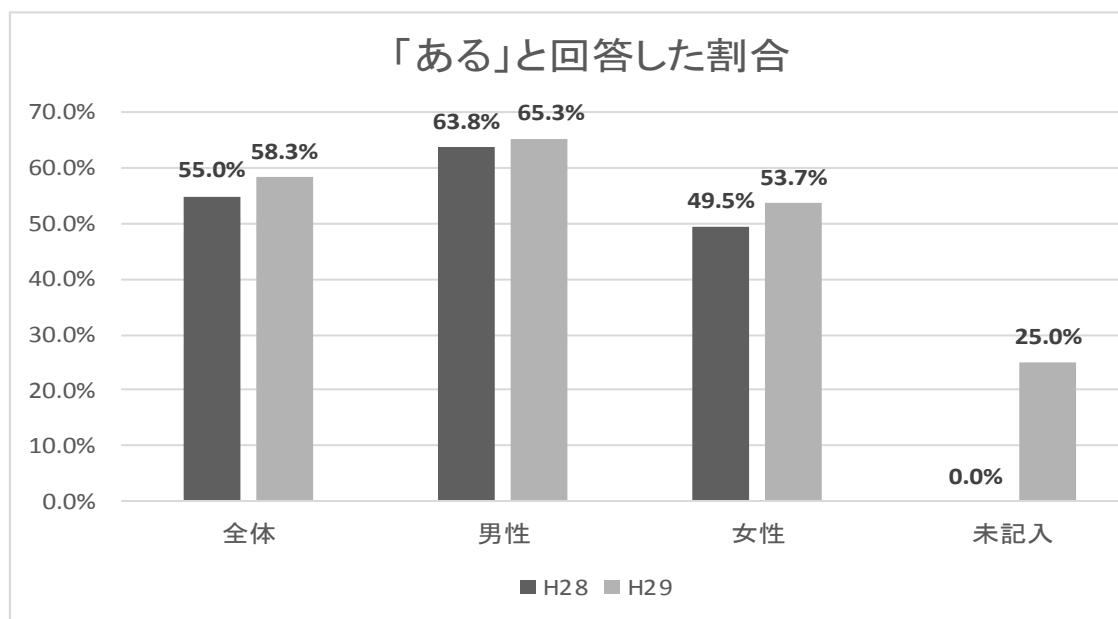
項目 \ 年齢	① 20～29 歳	② 30～39 歳	③ 40～49 歳	④ 50～59 歳	⑤ 60～69 歳	⑥ 70 歳以上	⑦ 未記入	合計
郵便	18	27	36	40	46	48	4	219
Web	4	3	1	0	1	0	0	9
合計	22	30	37	40	47	48	4	228



5. 分析結果

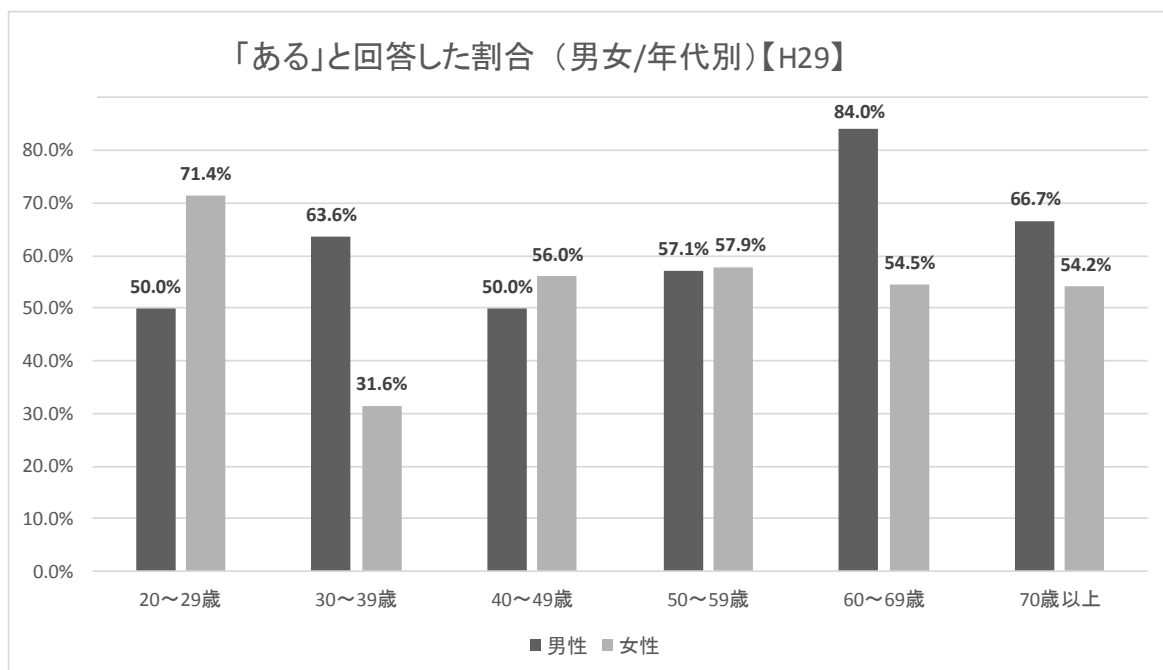
問1：あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を見たり聞いたりしたことはありますか？

① ある ② ない



・見たり聞いたりしたことが「ある」と回答した人の割合は、平成28年度調査（55.0%）と平成29年度調査（58.3%）ではほぼ同程度の割合となっています。

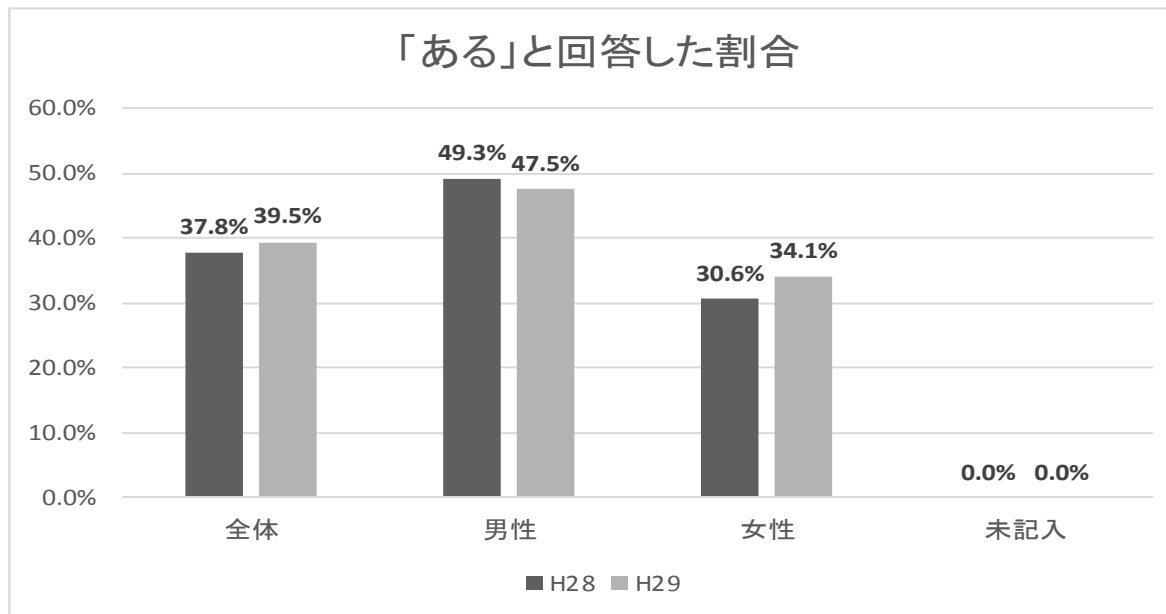
また、平成29年度調査では、女性が53.7%と半数以上となり、男女ともに半数以上の方が認識している結果となりました。



・男性は全ての年代で5割以上の方が認識していて、特に60～69歳が84.0%、70歳以上が66.7%と高齢の方の認識が高くなっています。女性は20～29歳が71.4%と高い一方、30～39歳が31.6%と低く、それ以降の年代では50%台となっていて年代間でばらつきが見られました。

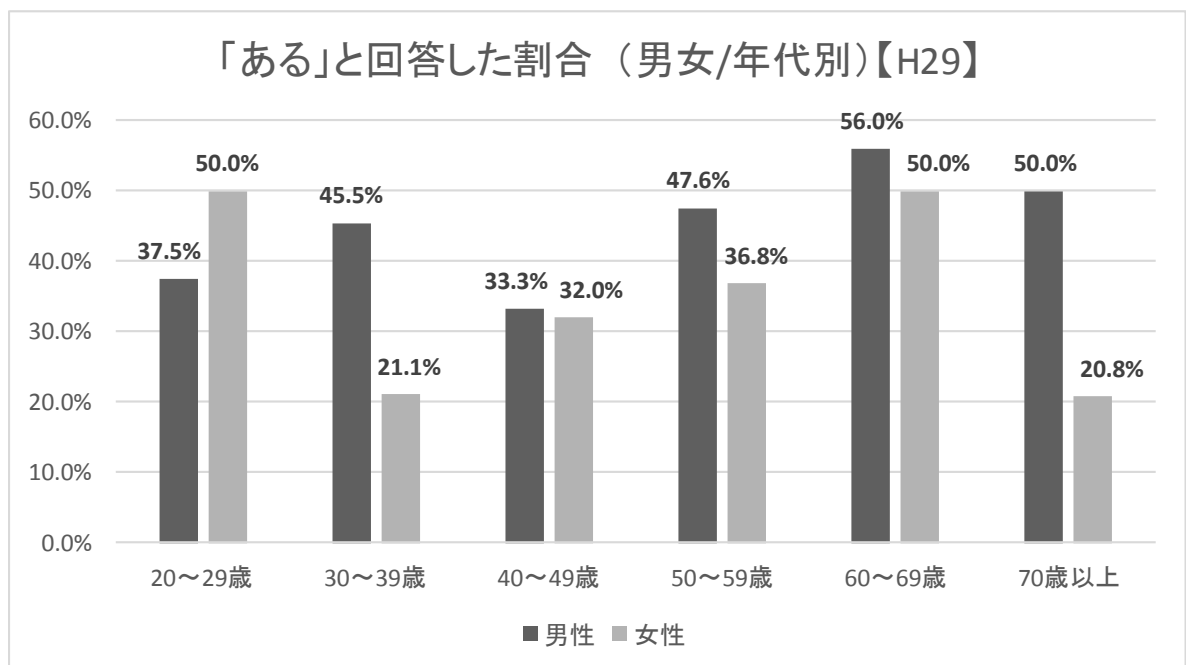
問2：あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を見たり聞いたりしたことはありますか？

① ある ② ない



・見たり聞いたりしたことが「ある」と回答した人の割合は、平成28年度調査（37.8%）と平成29年度調査（39.5%）ではほぼ同程度の割合となっています。

また、平成29年度調査では、男性が47.5%と約半数の方が認識しているのに対し、女性は34.1%と3人に1人の方が認識している結果となりました。



・男性は60～69歳が56.0%、70歳以上が50.0%と高齢の方の認識が高くなっています。女性は70歳以上が20.8%、30～39歳が21.1%と低く、40～59歳も30%台となっていて、年代間でばらつきが見られました。

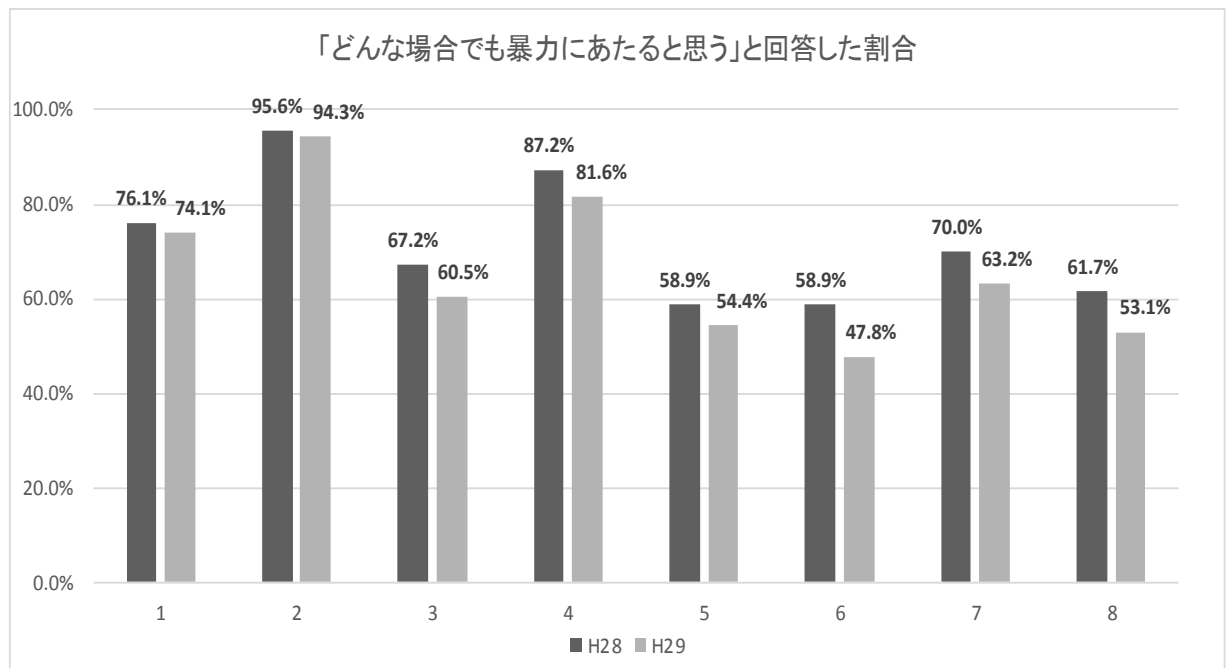
問3：あなたは、次のようなことが夫婦（恋人）間で行われた場合、それを暴力だと思いますか？

項目(1)～(8)について、あなたの考えに近い番号を○で囲んでください。

※「夫婦」には 婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含まれます

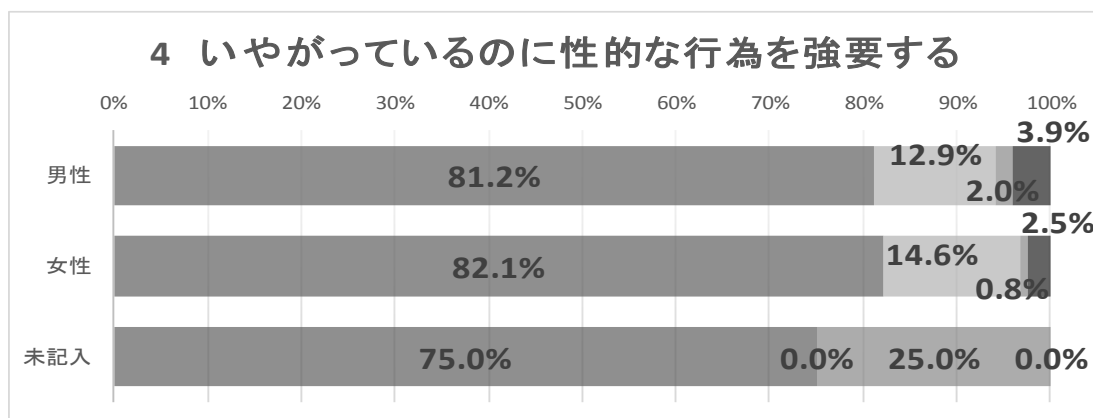
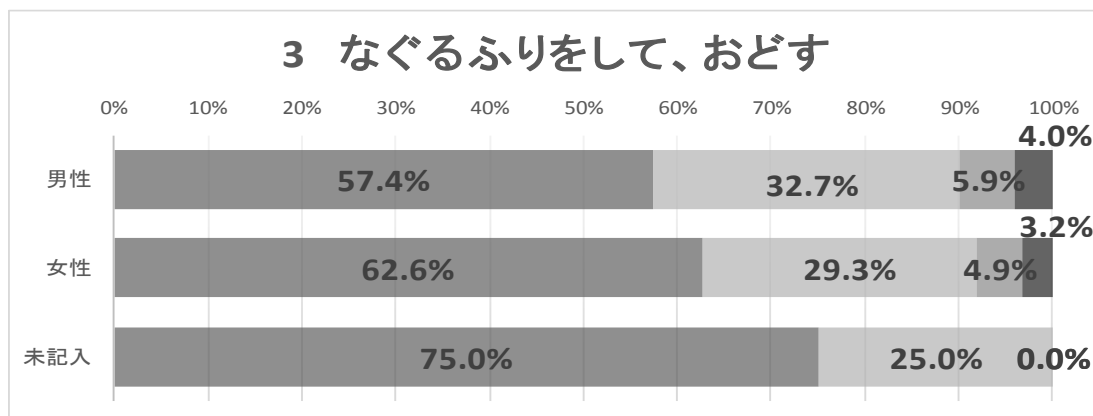
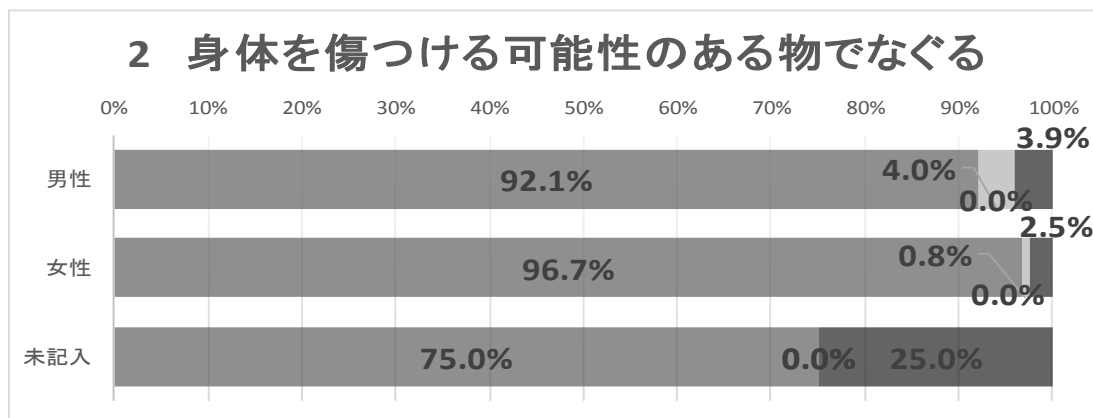
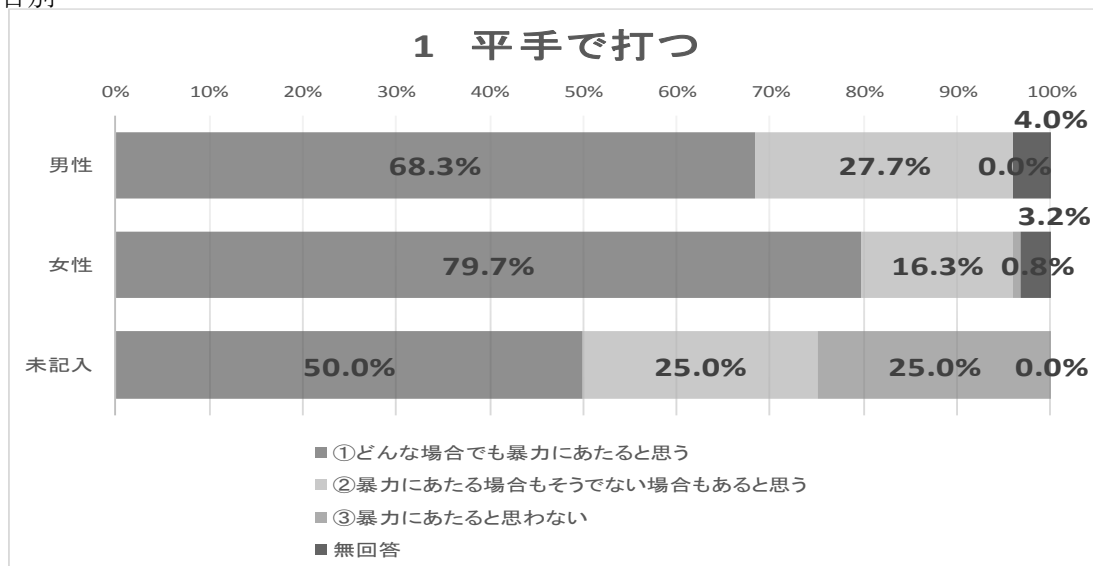
- ① どんな場合でも暴力にあたると思う
- ② 暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う
- ③ 暴力にあたるとは思わない

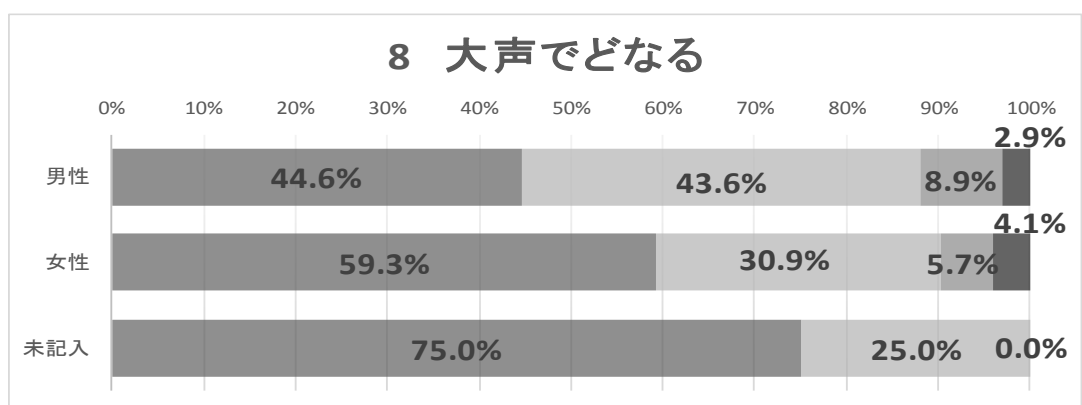
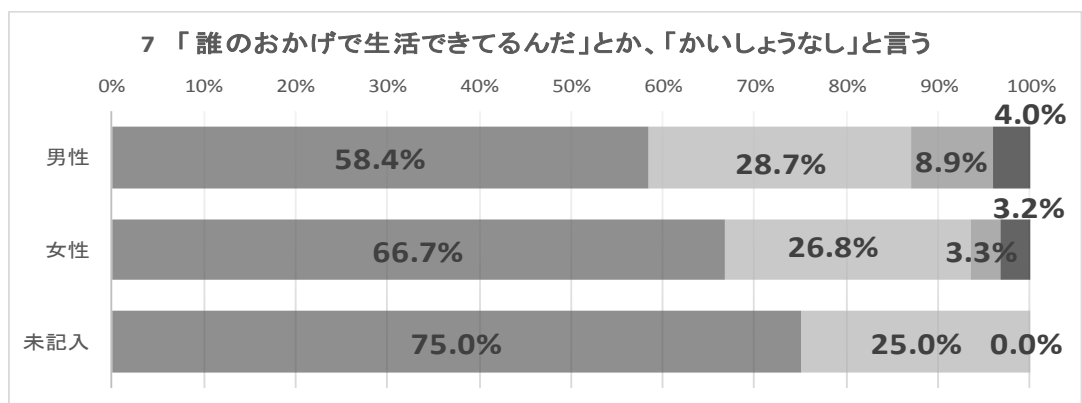
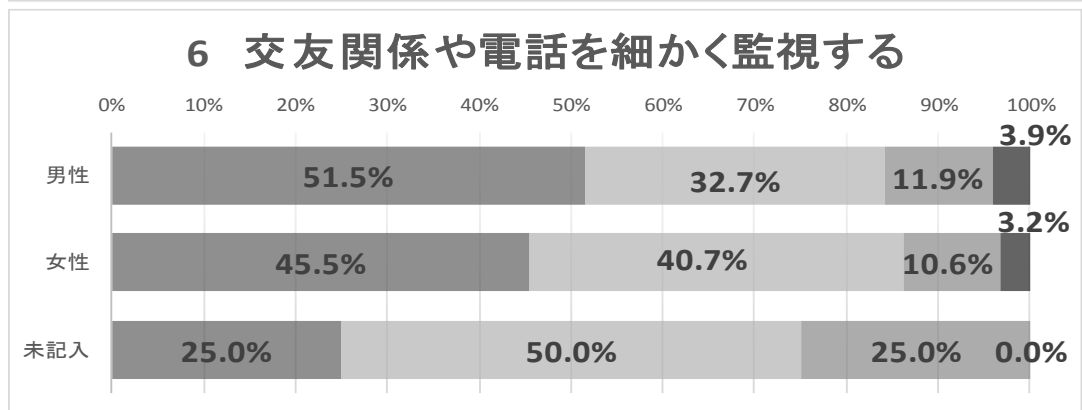
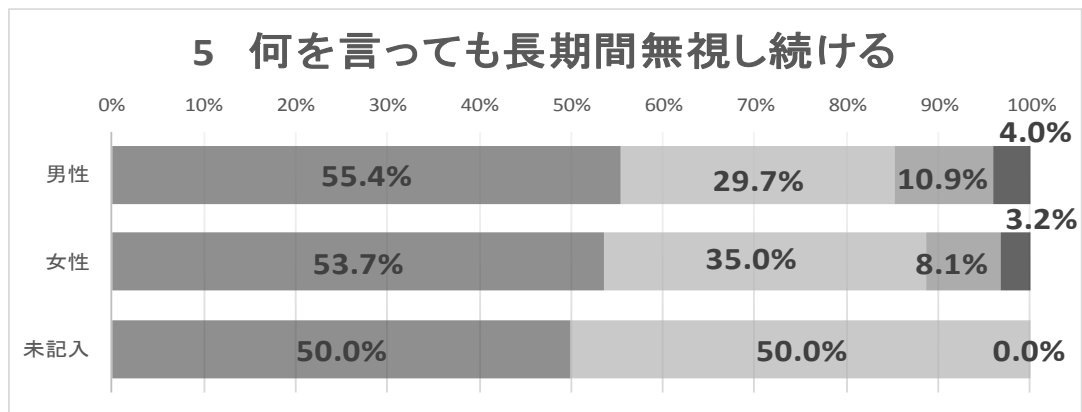
	項 目	番 号
1	平手で打つ	
2	身体を傷つける可能性のある物でなぐる	
3	なぐるふりをして、おどす	
4	いやがっているのに性的な行為を強要する	
5	何を言っても長期間無視し続ける	
6	交友関係や電話を細かく監視する	
7	「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」と言う	
8	大声でどなる	



- ・「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は、全ての項目で平成28年度調査より平成29年度調査の方が低くなっています。
- また、平成29年度調査では、1～4の身体的な暴力に比べ、5～8の精神的な暴力について認識している割合が低く、特に「6 交友関係や電話を細かく監視する」が47.8%と半数以下となっています。

項目別





- 男女間の認識の差については、ほぼ全ての項目で、女性が「どんな場合でも暴力にあたる行為」という認識が高くなっています。特に、「1 平手で打つ」「8 大声でどなる」という行為を暴力と認識する女性の割合が、男性より 10%以上高い結果となっています。また、「暴力にあたると思わない」と回答した割合は、5～8 の精神的な暴力についての項目が高くなっていて、特に「6 交友関係や電話を細かく監視する」という行為は男女ともに 10%以上となっています。

問4：あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現するために、どのようなことを心掛けていますか。（自由記述）

20 代女性（7 件）

- 自分の意見、意思などはしっかり伝える。
- 人の意見を否定しないこと。
- 細かいことは気にせず、夫婦関係はできる限り我慢することは大事。暴力は許せない。
- 心掛けることはしていませんが、もっと、こうしたらいいのに・・・とか思ったりはする。
実際、今妊娠中で、仕事が出来ず、退職になりました。もっと妊娠中でも育児中でも仕事が出来、もしくは、しやすい様に改善してほしい。検診費用、出産、育児費用もすごくかかるのに、主人の給料にのみたよって、10ヶ月間以上暮らしていかなければならない。今の時代共働きしてこそ生活がなりたっている。親にも頼れない。（高齢だったりする）去年は、不妊治療のために退職させられました。（職場からは自己退職あつかいで退職しろと言われた）少子高齢化といいながら、安心して子供を産んで育てる環境ができてない！！
- 夫婦の場合、お互い思いやりを持って、何事にも協力しあい温かい家庭をつくり、多々ある困難を乗り越えていけたら理想的な生活ができる気がします。心が元気じゃないと社会とのバランスなんてとれない！と、私は思います。
- 女性が積極的に社会進出をし、結婚して、子供を生んでもできる限り仕事を続け、会社が女性に対して満足のいく、環境にしていけるのが重要である。
- 今何をすべきかというのを優先的に考えることと、仕事をやる時はそこでしっかり集中する。そして、休むときは休むというメリハリをつけること。

20 代男性（3 件）

- まずは話し合いをするべきだと思う。
- 自ら希望するバランスで生活できるのは優秀な人間の特権であって、能力がない人間はそんなことを叫んだところで誰も相手にしない。会社でそんな事を言ったら「じゃあやめて他の会社行けば」と言われるのが落ち。ワーク・ライフ・バランスを実現したければ他人に必要とされる優秀な人間になればいい。若しくはルールから外れてフリーター等の自由人として生きていく勇気を持てばいい。自分が心がけていいことはワーク・ライフ・バランスを実現できる会社に転職すること。自分の要求を上層部に押し通す努力をすること。
- まだ学生なので感じることは少ないですが、休むことが出来る時はしっかり休むことを重要視してます。

30 代女性（10 件）

- 自分を大切に、相手も大切に。
- ワーク・ライフ・バランスという言葉は初めて聞いたので特に考えたことはありません。
- 会社で働いている間は時短制度や年休などの権利は積極的に取得していた。

- 「ワーク・ライフ・バランス」の意味がよく理解できていないので答えられないけど、○○すべきだ、○○しなければならないなどの固定概念的なことを気にしながら生活すると疲れるので、最近は自分の生活しやすいスタイルでやっていくことを心掛けている。他人に対しても違いを尊重して自分と違う考えの人がいても、なんとも思わないようにしている。(あまり気にしないようにしている)
- 主人とはどんなことでも話すようにしているので、家庭の役割分担がある様に思います。頼めば動いてくれます。それでも、私の方が仕事に家事に子育てに！と多いカナ・・・？と思う時はありますが、手伝ってもらえるだけありがたいです。
- 思いやりをもって行動する。
- 無理な勤務時間の仕事はしない。
- 一人で悩まず家族、友人等に相談するようにしている。相手の立場に立ち向き合うように心掛けている。
- よく働き、よく楽しむ。
- 共働きで子育てをするにあたり、家事・育児はすべて女性の役割という自分の親世代の固定観念に縛られず、疲れていたり時間がなくて出来ない事は、はっきり出来ないと言葉にする。自分の事は自分でやる意識を家族一人ひとりに持ってもらう。日々の生活をこなすことを優先し、完璧を求めないようにしています。

30 代男性 (3 件)

- やりたいことはたくさんあるが生活のために仕事の比重が大きくなりほとんど何もできていない。
- 仕事がうまくいかなかった時、イライラ等を家に持ち込まずワーク・ライフを分けて良い状態を保っています。
- 仕事もプライベートも我慢を強いる状態になるのをできるだけ回避する。できるだけ自然体で。完璧を求めすぎない。

40 代女性 (14 件)

- 家庭内では男女平等。女だから男だからという考え方は入れない。でも、学校は女は子どものこと、学校行事に参加させるのは女ばかりの傾向。母親勉強会といった名称の研修みたいなものもありゾッとする。でも、PTA の役員などは貢献もしてなかったような男が突然やってくる。自分のワーク・ライフ・バランスを考えてそうしたいと思っても自分 1 人ではどうにもならない。
- 仕事や家事について分担してもらうなど家庭で話し合う。
- 女性が社会に出たくても、保育所等の施設が少なく社会で活躍することができない。まだまだ女性は制約があると感じます。
- ひたすらに推しを愛でる。他人の趣味に口出ししないし自分の趣味にも口だしさせない。
- 思っていることは相手に伝えるようにする。
- 興味や関心のあることに挑戦していくようにしています。
- 家族の時間がとれる仕事内容を選ぶ。

- 放っておく。
- 自分で働いてお金をつくる。自立。
- 理解してもらえるように職場に希望を伝える。理解してもらえる職場で働く。
- 家族に声をかけ各自自分で出来る事はなるべく手伝ってもらうようにしています。それなりに、私の負担も減り、ストレスも軽減しています。
- 自分の事をちゃんと知ったうえで無理をする時と息をぬくときを心がけている。日々追われてなかなか時間を作れず流されてしまいがちですが、時には勇気を出し立ち止まることも必要だと思います。
- ワーク・ライフ・バランス？今度説明してください。(説明書だけではよく理解できませんでした)
- 趣味を持つ(観劇) 生涯学習を視野に入れた活動を行っている 家庭・職場以外のコミュニティを持つ

40 代男性 (4 件)

- 毎月、仕事をがんばり税金を納めること。
- 家事や子育てなどは分担して行うようにしています。相手になるべくつきたい仕事ができるように話し合いをしています。
- 時間の有効活用。理想と現実の妥協点。
- 早く帰る。

50 代女性 (8 件)

- 自分のしたいことを我慢することが多かったのですが、意見を言ったり自分の好きなことをする時間を作ったりするようにしています。
- 規則正しい生活を送ることを心掛けています。しっかり睡眠と三食を取りストレスを発散できる場を持つようにしています。
- 現社会では必要なことかもしれませんが、思い通りの生活を送ることは、簡単ではなく、希望があっても、自分だけでは解決できない問題も多く・・・バランスはうまく取れていません。(情薄な人間社会にがっかりするこの頃です)
- 家事は協力してする。自分のことは自分です(人に任せるのではなく自立を・・・)終活の準備。片親が2人いるので介護を必要とした時の事、自分達の老後の事、墓じまいの事など色々話し合ってます。自分の希望する葬儀(死後離婚)など、自立してもらわないと困る!
- やりたくない仕事は断る。行きたくない飲み会も断わる。仕事のできない人とは距離をおく。
- できるだけ家庭を優先させる。お互い自由な時間を持ちお互いを認め合える関係を保つ努力をする。
- 初めて聞いた言葉で特になし。
- 例えば、男女 1000 人と書きながら比率を明記していない、アンケートの項目が男性からのDVを想定しているものが多いなど、意図的に答えを誘導しようとする作為的なものを感じる場合がある。ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、男女共同参画という言葉に潜む、こういった女性有利の不平等に惑わされないようにすることが大切だと考えています。

50 代男性（8 件）

- 怒りを感じたら、おさまるまで我慢する。冷静になってから、言動（解決）する。
- 男女の別に係らず働きやすい環境を保てるように、また、子育て、介護についても意識を深めお互いの私生活について大切にしていこうように心掛けている。
- 現在の就労状態では、ワーク・ライフ・バランスを実現するのは無理な状況。サービス残業はあたりまえ、休暇も取りにくい、かといって仕事をやめても生活は出来ない。小規模な会社ではそれが現実です。行政機関（石狩市）のように人員にも余裕があるような所では、私たちのような立場の者が、どういった生活をしているかわからないでしょうが、もし石狩市職員さんで人員に余裕が無いと思う人がいるなら、それはそう思われている方の能力が低いからだと思います。我々市民から見れば、あまるほど人がいると思います。
- 穏やかな日常生活を送るために、仕事を家庭に持ち込まず、適度な運動を心がけ、極力、地域活動に参加するようにしています。
- 自分は実現しています。そもそも間違っている。第一に誰かの為に考え行動する。自分も満足な生活が出来るが、これは、自己中心的な考え方なので、いつまでたっても満足は得られない。
- 夫婦子供と出来る限り食事をする。基本暴力は×、しかし、生命にかかわらない事であれば時と場合 TP0 を考慮すべき。何でも×ではない。人間ですから！
- 年齢、男女に関係無く、各々が出来る事を自ら行う環境作りと相手の立場や状況を考えて言動するよう心掛けてます。
- スケジュール管理と実行。

60 代女性（13 件）

- 相手を尊重して、自分も認めてもらえるように生き方にプラスになる事を努力して見につけ、仕事やボランティアに参加して生き生きと暮らすよう心掛ける。
- 年だからと甘えず、他職員と同じように仕事をこなすことを心掛けている。
- なるべく相手に逆らわないようにする。
- 常に相手の気持ちを考えるように努めています。
- 性別、年齢に関係なく、特技、能力に合った仕事を自分の生活に合う時間帯で選べれば良いと思う。
- 家庭があつてのライフ・ワークを大事にすると考えているので家族の中で話し合い良い方法を優先しています。
- 今まで別に考えたことがない。
- 相手のいやがる事はしない事！
- 相手を思いやる。
- 私は 69 歳になりましたが子供が無く夫婦 2 人です。高齢の親も無く自分自身の事にのみ全力をかたむけられますので、ほぼ希望する生活を送っています。若い年代の人達がワーク・ライフ・バランスを送るのは、国、地方自治体、民間企業側の体制づくりも必要なのではないでしょうか。家庭環境各々違うと思いますので。
- 特に心がけはしていませんが、町内会の活動は、積極的に参加をする事になっている。

- 主婦なので、毎日家事をしっかりしながら、週1は趣味の茶道稽古に通い、仲間たちとのランチ等も楽しんでいます。ちなみに定年退職した主人はシルバーセンターの仕事を1週間ほどして、後の日は趣味の登山、ゴルフ、ランニングで健康維持しています。
- 自分が出来る事(仕事)は、出来る限り地域での活動に協力するように家庭とのバランスをとって生活していきたいです。

60代男性(11件)

- いつも相手を傷つけないよう心掛けています。
- 仕事も私事も男女のフィルターを掛けないようにしている。※上の質問の暴力の定義がよくわからない。相手がいやがれば全て暴力と言っているように思える。同性であってもゆるされないことと同じにとって良いのか。
- 共同運命体としての夫婦関係を維持し、お互いに思いやりをもって生活しています。
- とくに心掛けていないが暴力は反対です。
- 働いて収入を得る。ひとりで暮らす。
- 他者に対する適切な距離感。尊重。
- 今は無職。現役時代に心掛けていたことはオン・オフの切り替えを上手に行う事。自分を大切に。
- 仕事に追われることなく健康が保持され、いままで出来なかった地域で過ごす時間を多くし、地域町内活動を重点にいかして、関わりを多く持つかを考えて行きたいと思う。
- それぞれお互いを尊重し合うことが必要であり、また、それを認め合える社会になることが重要だと思います。
- 健康維持。
- お互いの考え方や生き方に対して、違いがあつたとしても、尊重することが必要なのではないかと思う。

70代女性(10件)

- 良く分かりませんが、この表に書いてある事は全て暴力だと思います。人の嫌がることから、男も女も同じです。
- なるべく他人に迷惑をかけないこと。
- 夫は10年前に他界しました。健在の時は昭和11年生まれのためか男尊女卑の傾向がありました。いまだと許せないこともあります。
- 自らが希望するバランスで生活を送ることが出来る状態は、結婚して現在に至るまで(48年間、もうすぐ金婚式)持続しています。無理せず自然体で、想像力を働かせる事だと思います。
- 日々書道に一生懸命心しています。
- 1. 家事は午前の早い時間にすます様に 2. 日中は夫婦別々に自分の時間をもつ 3. 老体を気をつけて無理しない
- 共に協力すること。
- 理解しあうことが大事だと思います。

- 男女共同参画良く知っているつもりです。あまり知らない人でもこのように文字にして目にふれていくのがいいですね。みなさん頑張ってください。ありがとう。
- こういう行為を誰かに相談して関係がよくなるかどうか分からない。他人が入って余計こじれる事はないのでしょうか。

70 代男性（11 件）

- 人間個々は持っている能力が違うのに皆が平等な権利を欲すること自体無理がある。男女同じ混合チームで戦えるか（例えばスポーツ等で）どう能力を補い合えるのか。同じことをするというだけでは解決できない。
 - 黙示することが多い。口論をする。・・・が良いところはほめる。
 - 一人暮らしですが仕事について自活しています。
 - 相手の立場を良く考えてやる事に心がける。
 - 相手の話し、理由を聞き本人の対応をよく思慮して話すよう心がける。
 - 専業主婦は別として、女性の役所等の責任ある仕事に積極的に参加し、女性のリーダーシップを発揮出来る様環境作りをしてほしい。最近学校等で女性の管理職が見られる様になって来たが、まだまだ少ない。
 - あまり自分にはこういう事がないので、あまりわかりません。
 - 出来る限り自立・相手を尊重する。
 - こんなことを言葉にして実行すること自体に疑問を感じる。
 - 家庭菜園で多くの人達と意見交換し、収穫物の交換や地域の人達におすそ分けなどして交流を図っています。テレビのクイズ番組を極力見るようにして夫婦で答えを出し合い会話を増やし、ボケ防止に努めています。
 - 会社を退職して、外との付き合いは少なくなりましたが、家庭菜園・除雪等で近所とのコミュニケーションを図っています。家庭生活では、家事等の役割分担、ゴルフを妻と共に楽しんでます。
-

性別年代未記入（2 件）

- 触らぬ神に祟り無し。
- 相手によらず、そっとしておけば気持ちが落ち着くのでは。